



100%

新潟県建設技術センター あすふあと

検索



アスファルト舗装で必要な検査は？

新潟県土木部及び交通政策局が所管する工事の工事用材料及び工事の成果品は、公的实施機関において、試験検査（密度測定・舗装現場）する必要があります。

【技第1037号抜粋】

新潟県建設技術センターはアスファルト舗装工事の品質管理用の抜き取りコアの密度試験を行っています。また、アスファルト混合物事前審査制度の指定試験機関です。

アスファルト混合物事前審査制度とは？

アスファルト



試験の申込みはこちら

事前審査制度とは、公共工事発注機関、学識者及び関係機関で構成される「アスファルト混合物事前審査委員会」において、アスファルト混合物の製造に関する事前審査と認定を行い、その品質確保と品質管理業務の合理化・省力化を図る制度のことです。

試験手数料

試験項目	試験方法	求められる値	目的・利用	金額(円) 【税抜】	試験場所
アスファルト混合物の密度試験 ※	舗装調査・試験法 便覧B008	コアの密度	締め固めたアスファルト混合物 供試体の密度を把握	2,300	長岡 支所
アスファルト混合物の密度試験用 供試体の切断	—	—	2層以上あるアスファルトコアの 切断分離	400	
マーシャル安定度試験	舗装調査・試験法 便覧B001	安定度 フロー	加熱アスファルト混合物におけ る粗・細骨材とアスファルトの 配合割合を決定するための性 状を把握	3,100	本所
アスファルト抽出試験	舗装調査・試験法 便覧G028	アスファルト量 粒度分布	アスファルト混合物からアスファルト 分を抽出してその含有量を測定し、 抽出した骨材をふるい分け、その粒 度を調べてアスファルト混合物の配 合を把握	15,600	
ホイールトラッキング試験 供試体作製(密度試験を含む)	舗装調査・試験法 便覧B003	供試体の密度	高温時における加熱アスファルト 混合物の耐流動性を評価するた めの供試体作製	19,000	
ホイールトラッキング試験 走行試験のみ		動的安定度DS	高温時における加熱アスファ ルト混合物の耐流動性を評価	29,100	

※アスファルト事前審査における密度試験は本所で実施。

アスファルト舗装 品質管理基準及び規格値 【新潟県土木工事標準仕様書その2より抜粋】

種別	区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度
舗設 現場	必須	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧 [3]-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所: 基準密度の 90(94)%以上 () 書きは車道と同等の締固 め度・・・大型車両が頻繁に走 行する場合等に適用する	・締固め度は、個々の測定値が基準密度 の94%以上を満足するものとし、かつ平均 値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値 X10が規格値を満足するものとする。また、 10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測 定 値の平均値X3が規格値を満足するものと するが、X3が規格値をはずれた場合は、さ らに3孔のデータを加えた平均値X6が規格 値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000m ² を超える場合は、 10,000m ² 以下を1ロットとし、1ロットあたり 10孔で測定する。 * なお、ごく小規模な工事(100m ² 以下 を目安)については監督員の指示により 省略することができる。



長岡支所

〒940-1104 新潟県長岡市摂田屋町2595
TEL 0258-23-3733 FAX 0258-23-3739
E-mail: nagaoka@niigata-ctc.or.jp

0120-668-011 (本所)

